

所属・氏名（ 助産学専攻科 氏名：北村 万由美 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 実習指導者が認識する分 娩介助実習の実情 《筆頭論文》	共著	2021 年 4 月	インターナシ ョナル Nursing Care Research, 20(1), 63-72	実習指導者が認識する分娩介助実習の実 情を明らかにすることを目的に、自記式 質問紙調査を行った。分娩介助実習では 臨床と教育機関との連携強化や助産師の 生涯学習の推進、さらに夜間の実習指導 体制や学生の休息の確保等、実習環境の 整備・改善の必要性が示唆された。 (総ページ数：10 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
2 (学術論文) 産後ケア事業に関する研 究の動向と課題	共著	2020 年 11 月	インターナシ ョナル Nursing Care Research, 19(4), 147-156	産後ケア事業の研究課題を検討するため 文献検討を行った。研究内容は【産後ケ ア事業の現状】、【産後ケア利用に対する ニーズ】、【産後ケア事業に対する効果と 満足度】の 3 つのカテゴリーに分類され た。産後ケア事業の研究は始まったばかり であり、今後は地域性をふまえた現状 を把握し対策を見出す研究が必要である ことが明らかになった。 (総ページ数：10 頁) 該当論文の著者名：平田紗衣 杉野真紀 北村万由美 担当部分：特定不可
3 (学術論文) 分娩介助実習における助 産診断に関する助産師の 教授活動 《筆頭論文》	共著	2019 年 4 月	母性衛生 第 60 巻 1 号, 39-46	分娩介助実習における助産診断を指導す る助産師の教授活動を明らかにすること を目的に、内容分析を行った。助産師は 学生の思考する力や判断する力を育て、 刻一刻と変化する分娩場面をエビデンス に基づき診断ができるよう、学生自身の 内省を促す指導をしていることが明らか になった。(総ページ数：8 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
4 (学術論文) 分娩介助実習における倫 理的配慮に関する助産師 の教授活動 《筆頭論文》	共著	2019 年 1 月	母性衛生 第 59 巻 4 号, 810-817	分娩介助実習における倫理的配慮を指導 する助産師の教授活動を明らかにすること を目的に内容分析を行った。助産師は 学生に産婦を尊重しながら新しい命を繋 ぎ家族を形成していく過程を指導してい た。また助産師としての責務と使命感を 伝えアイデンティティの確立を促し、学 生を尊重し信頼することを意識しながら 実習指導を実践していることが明らか になった。(総ページ数：8 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般